

「新しい林業」に向けた林業経営育成対策

【令和6年度予算概算決定額 154（202）百万円】

<対策のポイント>

エリートツリー等の新たな技術の導入により、伐採から再造林・保育に至る収支がプラスとなる「新しい林業」の経営モデルの構築を支援するとともに、国有林において生産・造林の効率化技術等の実証を行います。

<政策目標>

主伐の林業生産性向上（5割向上 [令和12年まで]）

<事業の内容>

1. 経営モデル実証事業 140百万円

民間団体等が、研究機関などの支援機関と共同した実証事業を行う林業経営体を選定した上で、これらの者が新たな技術の導入により、森林調査から素材生産・流通、再造林に至るまで収支がプラスとなる取組を行うのに必要な経費を支援します。

2. 国有林活用型生産・造林モデル実証事業 13百万円

国有林において、新たな生産・造林の効率化技術等の実証を行います。

<事業の流れ>



※ 2の事業は、国有林において直轄で実施

<事業イメージ>

「新しい林業」の経営モデルの構築



関連施策

 持続的な経営を担う 森林プランナー育成 支援	 林業労働災害防止 の支援	 高性能林業 機械導入支援	 再造林の推進 等
---	--	--	--

【お問い合わせ先】 (1の事業) 林野庁経営課 (03-3502-1629)
(2の事業) 業務課 (03-6744-2326)